

【揭示用】

平成30年度大学院美術研究科芸術学専攻修士課程 入学試験における出題ミスについて

平成30年2月14日(水)に実施いたしました大学院美術研究科芸術学専攻修士課程入学試験において、「独語」の試験問題に出題ミスがあることが判明いたしました。出題ミスの内容及び採点上の措置は下記のとおりです。

なお、合否判定前に判明し審査しましたので合否には影響いたしません。

受験生ならびに関係者各位にご迷惑をおかけしたことを深くお詫びするとともに、今後このような事が発生しないよう再発防止に万全を期す所存でございます。

記

○出題ミスの内容

語学能力の筆答試験（英・独・仏・伊・日本及び中国の古典語の中から2カ国語を選択）の独語において、問1の出題文の1行目と3行目にある2カ所（同一単語）の綴りのミス
誤 Zeichen（記号、しるし）→ 正 Zeichnen（素描、デッサン）

○採点上の措置

独語を選択した受験者に不利益が生じないように、かつ、選択しなかった受験者に対しても公平性が保てるように、当該問題の採点及び合否判定を行いました。

以上